

第2回講演会

「韓国の司法と日本の司法」

日時 2014年12月21日(日)

12:30開場・13:00開演

会場 全水道会館 4階大会議室

東京都文京区本郷1-4-1

【交通のご案内】

JR水道橋駅東口(御茶ノ水駅寄り)徒歩2分

都営地下鉄三田線水道橋駅A1出口徒歩1分

開会挨拶

第1部 講演

韓国の国民参与裁判の現状と展望 (仮題)



韓 勝 憲 氏

弁護士、韓国司法制度改革推進委員会委員長



韓 寅 燮 氏

ソウル大学校法学専門大学院教授(刑事法)、
大法院司法改革委員、参与連帯司法監視センター長

第2部 授賞式

「第2回守屋賞」「第1回守屋研究奨励賞」授賞式

第3部 対談

刑事司法の可視化 (仮題)



周防 正行 氏

聞き手: 白取祐司 北海道大学教授

映画監督。2007年、刑事裁判をあつかった『それでもボクはやってない』で主要映画賞30冠を達成。2012年公開の『終の信託』は現役弁護士でもある朔立木氏の同名小説を原作に映画化。法務省法制審議会「新時代の刑事司法制度特別部会」のメンバーも務めた。